



一般社団法人

埼玉県障害者スポーツ協会だより

第25号



2012（平成24）年6月 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会発行

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-124 埼玉県大宮合同庁舎3階

TEL 048-650-0170 FAX 048-650-0171 E-Mail 2004@sainokuni-sasa.or.jp ホームページ <http://sainokuni-sasa.or.jp>

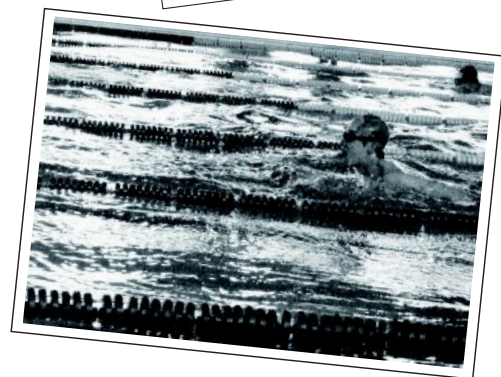
平成24年度彩の国ふれあいピック春季大会

1100人超が参加

自己記録にチャレンジ!

平成24年度彩の国ふれあいピック春季大会（第25回県民総合体育大会兼第11回埼玉県障害者スポーツ大会）は、アーチェリー（5月6日・はらっパーク宮代）、ボウリング（5月13日・浦和スプリングレーズ）、サウンドテーブルテニス（5月13日・埼玉県障害者交流センター）、陸上競技（5月20日・上尾運動公園陸上競技場）、水泳（5月20日・埼玉県障害者交流センター）、卓球（5月20日・彩の国くまがやドーム体育館）、フライングディスク（5月20日・彩の国くまがやドーム多目的運動場）の各競技が行われました。

この春季大会は、10月に開催される「全国障害者スポーツ大会・ぎふ清流大会」の予選を兼ねているもので選手、役員、ボランティア総勢1644人が参加し盛大に開催されました。



主催者あいさつ

埼玉県福祉部 副部長 内田 敏雄



本日、ここに「彩の国ふれあいピック春季大会」が一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会、埼玉県障害者陸上競技協会、埼玉陸上競技協会をはじめ、多くの役員の皆様の御協力を得て、開催できますことを感謝申し上げます。

また、市町村、特別支援学校、障害者施設の皆様におかれましては、日頃、ふれあいピックの運営にご協力をいただいております、ここに改めて感謝申し上げます。

さて、この春季大会は、本年10月に岐阜県で開催されます「第12回全国障害者スポーツ大会ぎふ清流大会」の県代表選考会も兼ねております。選手の皆さん、自らの限界にチャレンジし、力の限り頑張ってください。

埼玉県では、障害者の皆様がスポーツに参加することを通じ、自立と社会参加を進められるよう、障害者スポーツの振興に取り組んでおります。

秋には、熊谷スポーツ文化公園で「彩の国ふれあいピック秋季大会」を開催いたします。体力に自信のない方でも楽しめるプログラムを予定しておりますので、是非とも、皆様でご参加ください。

今年は、4年に一度のパラリンピックがロンドンで開催されますが、ふれあいピックをきっかけに世界で活躍する選手が数多く現れることを期待しております。

最後に、この大会の成功と、本日御参加の皆様のみずみずの御健勝と御活躍をお祈りし、私のあいさつとさせさせていただきます。（要旨）

平成24年度 彩の国ふれあいピック春季大会

平成24年度彩の国ふれあいピック春季大会は、役員・ボランティア総勢490名の皆様、また、ご参加いただいた選手・保護者等ご関係の皆様のご協力により盛会裏に開催することができました。ありがとうございました。



KOBATON

大会に参加して

競技の補助員をさせていただいたのは今回が初めてでしたが、とても楽しく一緒になって興奮したり盛り上がることができました。緊張していた気持ちも参加者の皆様の笑顔を見たら、自然となくなりました。良い経験をさせていただき、ありがとうございました。

♡埼玉福祉専門学校 権田瑞紀

今回、はじめてボウリングの競技補助員をさせていただきました。参加者の皆さんの上手さにとても驚きました。

はじめはたどたどしかったハイタッチも終わる頃には自然にできるようになり、別れが名残惜しい気持ちになりました。

♡埼玉福祉専門学校 佐々木美幸



平成23年度 彩の国ふれあいピックバスケットボール大会

チャンピオンシップの部

フューチャーズ（男子）、彩の国レッド♡キング（女子）が熱戦を制す



平成23年度彩の国ふれあいピックバスケットボール大会は、2月19日（日）フレンドシップの部、3月4日（日）11日（日）チャンピオンシップの部を彩の国くまがやドームにおいて開催しました。大会には、フレンドシップの部14チーム、チャンピオンシップ男子の部13チーム、女子の部10チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

男子の部

優勝 フューチャーズ
準優勝 羽生ふじ高等学園
第3位 さいたま桜高等学園

女子の部

優勝 彩の国レッド♡キング
準優勝 さい西プリンセス
第3位 春日部特別支援学校

大会結果



KOBATON



平成23年度 彩の国ふれあいピックソフトボール大会

AMCサンデースポーツ 連覇

平成23年度彩の国ふれあいピックソフトボール大会は、3月4日（日）荒川総合運動公園ソフトボール場において、県内5チームが参加し開催しました。

当日はあいにくの天気となってしまいましたが、選手や家族の大きな声援が会場に響いていました。



大会結果

優勝 AMCサンデースポーツ
準優勝 AMCサンデースポーツB
第3位 フレンドリー春日部・県北合同チーム



第12回全国障害者スポーツ大会関東ブロック地区予選会

全国大会出場を目指して “チーム埼玉” 大健闘

平成24年4月～5月にかけて、関東各地で第12回全国障害者スポーツ大会関東ブロック地区予選会が開催され、各競技で埼玉県チームが大健闘しました。結果は次のとおりです。



◆バスケットボール（男子）

☺第3位

埼玉県 76-31 栃木県
 埼玉県 63-66 東京都（準決勝）
 埼玉県 86-61 山梨県（3決）



◆バスケットボール（女子）

☺第3位

埼玉県 65-44 横浜市
 埼玉県 51-76 東京都（準決勝）
 埼玉県 124-15 神奈川県（3決）



◆フットベースボール

☺準優勝

埼玉県 23-3 群馬県（準決勝）
 埼玉県 1-21 東京都（決勝）



◆バレーボール（知的男子）

☺第3位

埼玉県 1-2 横浜市（準決勝）
 埼玉県 2-0 千葉県（3決）



◆バレーボール（知的女子）

☺準優勝

埼玉県 2-1 茨城県
 埼玉県 0-2 東京都（決勝）



◆バレーボール（精神）

埼玉県 0-2 横浜市（1回戦）



◆サッカー

埼玉県 3-1 横浜市（1回戦）
 埼玉県 0-6 東京都（2回戦）

◆ソフトボール

第12回全国障害者スポーツ大会ソフトボール競技関東ブロック地区予選会を、4月15日（日）さいたま市荒川総合運動公園ソフトボール場で開催しました。大会には7チームが参加し、埼玉県チームは3月に開催された彩の国ふれあいピックで選考された選手で構成、大会に臨みました。

埼玉県は神奈川県との初戦で惜しくも敗退。決勝戦は千葉県と東京都で行われ、エースの好投と再三にわたる好プレーで守りきった東京都が3対1で勝利し、2年連続の全国大会の切符を手に入れました。

埼玉県チームの町田篤志選手は、「開会式の選手宣誓は緊張したけど落ち着いてがんばりました。試合は負けてしまったけど、2安打と自分のバッティングができて良かったです」と話をしていました。

《大会結果》

優勝 東京都
 準優勝 千葉県
 第3位 神奈川県

《埼玉県チームの結果》

埼玉県3-13 神奈川県
 埼玉県0-11 横浜市（交流試合）



羅漢像に感動！ 鐘撞堂山・羅漢山登山

障害のある人とその家族が参加した平成24年度ふれあい登山を4月8日（日）、寄居町に位置する鐘撞堂山・羅漢山で、前年度に引き続き日本山岳会埼玉支部の全面協力のもと実施しました。

参加者は56名で、矢幡神社、矢幡山を経由する健脚コースと、山道の途中にある竹工房で休憩して山頂に向かう一般コースとに分かれ、それぞれ目標の鐘撞堂山頂を目指して寄居駅を出発。昼食後は、健脚コース・一般コース全員で羅漢山を目指し、下山時は500体を越える羅漢像のそれぞれ違った表情を楽しみながら歩きました。

春の陽気で気持ちの良い登山となりました。



寄居町役場前での集合写真

浦和レッズハートフルカップ第5回スマイルサッカー大会

過去最多 県内36チームが参加



浦和レッズハートフルカップ第5回スマイルサッカー大会を5月5日（土・祝）、レッズランドにおいて開催しました。サッカー11人制の部3チーム、フットサル5人制I部23チーム、フットサル5人制I部女子2チーム、フットサル5人制II部9チームの計36チームが参加し、パラリンピック種目である脳性まひ7人制サッカー「ASユナイテッド」がオープン参加しました。

開会式では、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会塩浦綾子会長が主催者挨拶を述べ、浦和レッドダイヤモンド橋本光夫代表からは挨拶とともに参加チームに浦和レッズのエンブレム入りのボールがプレゼントされました。その後、参加選手を代表してFCアドバンスの鈴木選手が元気一杯に選手宣誓を行いました。

快晴に恵まれたピッチ上では熱戦が繰り広げられ、選手たちの大きな声や声援が新緑に包まれたレッズランドに響きました。

閉会式では3位までのチームに一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会重田博副会長から賞状が、優勝チームにレッズランド松本至弘キャプテンから優勝カップが贈られました。

大会結果

★サッカー11人制（知的障害の部）

優勝 FC埼玉RED
準優勝 チーム桜
第3位 FCアドバンス

★フットサル5人制I（知的障害の部）

優勝 FCパラダイス
準優勝 羽生ふじBoysA
第3位 FC入間ゴールズA

★フットサル5人制II（精神障害の部）

優勝 F.C. 球部
準優勝 ふれむF.C.
第3位 ファンタジスタ本庄

★フットサル5人制I-女子（知的障害の部）

優勝 羽生ふじGirls
準優勝 FC-Forestレディース



平成23年度 親子水泳教室



水と友だちになりました

平成23年度親子水泳教室を1月29日(日)、2月26日(日)の2日間、大宮スイミングスクール本校において開催し、就学前児童4組・小学生13組の親子17組の参加をいただきました。

平成23年度で6回目となるこの教室は、参加者それぞれの水泳経験やレベルにあわせて「水慣れ」から「泳ぎの指導」までを行っており、平成24年度も実施する予定です。皆様奮ってご参加ください。

彩の国ハート&スマイル第4回四面卓球バレー大会

1戦ごとに深まる絆!

彩の国ハート&スマイル第4回四面卓球バレー大会を2月12日(日)、埼玉県立大学体育館において開催し、過去最多の14チームのご参加をいただきました。

予選リーグを勝ち抜いた8チーム(1グループ4チーム)で準決勝をおこない、準決勝上位4チームによる決勝戦では、試合ごとにチームワークに磨きをかけたAMCサンデースポーツAが初優勝を飾りました。

優勝チームの野口秋男さんは、「去年は決勝で悔しい思いをしたので優勝できて嬉しい。来年も優勝できるように頑張ります!」と話していました。



ランチタイムコンサート



休憩中 羽子板で遊ぶ姿も



大会結果

優勝	AMCサンデースポーツA
準優勝	フレンドリー春日部D
第3位	フレンドリー春日部B

平成24年度 理事会・定時社員総会 開催

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会平成24年度理事会を5月22日(火)、定時社員総会を6月1日(金)、彩の国すこやかプラザにおいて開催しました。

定時社員総会において下記6議案が上程され、慎重審議の結果、全議案が承認されました。

- 議案第1号 平成23年度事業報告について
- 議案第2号 平成23年度収支決算について
- 議案第3号 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会役員の選任について
- 議案第4号 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会会員の入会金及び会費について
- 議案第5号 平成24年度事業計画について
- 議案第6号 平成24年度収支予算について



新役員は次のとおりです。

会長 塩浦 綾子
 副会長 大久保春美
 重田 博
 松本 洋
 理事 青木 秀也
 石坂 功
 猪股 和則
 岩田 晃広

理事 兼子 章
 菊池 礼子
 北田 恵二
 五嶋 善明
 白石三重子
 高田 憲
 中川 健司
 長野 哲也

理事 福田 孝一
 帆足 光代
 宮下 達也
 山下 晴巳
 山本 達也
 渡辺 靖亮
 監事 佐藤 雄二
 田中 俊之

埼玉縣信用金庫

当金庫は、昭和23年の設立時より地域密着型の金融機関として地域の皆様の繁栄に奉仕すると共に、真に愛される金庫として地元産業の振興に貢献する経営を続けております。熊谷市に本店を置き、埼玉県全域に96店舗、9つのローンセンター、79の店外ATMのネットワークにてお客さまをサポートしております。

スポーツを通じて埼玉を元気に

当金庫では、埼玉県サッカー少年団大会等に協賛し、スポーツ振興を通じて青少年の健全な育成のお手伝いをしております。また、人気商品である「浦和レッズ定期預金」や「石川遼応援定期預金」の特典として、契約金額の一部を「チーム強化資金」や「ジュニアゴルファー育成支援金」として寄付を行っております。

障がいを持つ方々へ配慮した取組み

CSRへの取組みの一環として、新しい店舗には入り口からATMへの点字ブロック、入り口にスロープやお体の不自由な方専用駐車スペース、車椅子の方でも

使いやすい記帳台を設置するなど、多くのお客さまにご利用いただけるよう配慮した店舗づくりを行っております。また、設備だけでなく職員によるサポートにより、公平な金融サービスが提供できるよう努めております。



座って書ける記帳台

【お問い合わせ先】 埼玉県熊谷市久下4-141
048-526-1111 (代)
<http://www.saishin.co.jp>

さいたま商工会議所

さいたま商工会議所は、『商工会議所法』に基づき、地区内の商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資することを目的とする地域総合経済団体であり、12,259事業所（平成24年3月31日現在）に会員として登録いただいております。

商工会議所の主な事業活動は、地区内の商工業者の意見・要望を国・行政等に具申、建議する他、商工業の発展、まちづくりのための事業を実施するとともに、金融、税務、労働等における商工業者の経営相談にも応じています。

また、明治11年に渋沢栄一等の尽力により日本で初めて商工会議所が設立されて以来、商工会議所は地区内企業のネットワークを活用して企業、まちをイキイキと元気にする大きな役割以外にも、社会一般の福祉の増進、今で言う「社会貢献」の考えも脈々と受け継がれています。

貴協会の賛助会員である私ども商工会議所といたしましては、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会の活動理念に賛同するとともに、スポーツに取り組む障害者の活動を支える貴協会を今後も積極的に応援させていただきたいと考えております。地域に根ざしたスポーツを通じての人づくり、また、まちづくりにこれからも頑張ってください。

社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会

昭和27年（1952年）3人のお母さんの呼びかけで現在の「全日本手をつなぐ育成会」が結成されました。その翌年、3人のお母さんのひとり大宮市（現さいたま市）在住の加藤千加子さんを会長として「埼玉県手をつなぐ育成会」が発足され昭和38年に社団法人となりました。今年創立60周年を迎えます

私たち親は知的障害のある人とその家族が普通の人と同じように権利が守られ、充実した人生が送られるよう願っています。障害のある人たちが地域の中で安全で安心して暮らせることが私たち親の願いです。

スポーツとの関わりは昭和57年に県から委託され、第1回埼玉県精神薄弱者スポーツ大会を真夏8月の上尾陸上競技場で開催して以来第20回大会まで手探りで運営し終了しました。また知的障害者の全国スポーツ大会は「ゆうあいピック」として平成4年に第1回東京大会から始まり平成12年岐阜大会で終了、翌年第1回宮城大会から3障害合同でスポーツ大会として開催され現在に至っています。

埼玉県の障害者スポーツに忘れてはならないのは重田先生はじめ特体連の貢献が大きかったことです。

埼玉県障害者スポーツ協会をみんなで支えよう。スポ協がんばれ!!!



第11回全国障害者スポーツ大会
埼玉県選手団団長をつとめた
村山勇治理事長（写真右）